

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

平和・滝呂・笠原地区

平成24年 3月

岐阜県多治見市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	自転車歩行者専用道路の利用者数増加	延人数/12h	1,282	1,700	1,871	確定		○	あり	2,337	H23年10月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事業により基盤整備が整ったことで、自転車歩行者数が増加した。
指標2	防災対策に対する地域満足度の向上	ポイント(5段階評価)	2.85	3.5	2.95	確定			あり	3.10	H23年11月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	目標より低い水準ではあるが、満足度は向上している。
指標3	犯罪件数の抑制	件数/年	6	4	3	確定		○	あり	3	H24年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事業によって、地域コミュニティが活性化したことや人目につきやすくなったことにより、犯罪件数が抑制された。
指標4						確定			あり		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定			あり		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入										フォローアップの必要のある指標について記入				全ての指標について記入	

様式4 - その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	防災施設整備率	%	23.1		61.5	確定 見込み			61.5	H23年10月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	予定通り整備が行われ、整備率が大きく上昇した。	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		
事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入										フォローアップの必要のある指標について記入				全ての指標について記入	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	自転車歩行者専用道路の利用者数の維持・増加	・沿道擁壁面へのモザイクタイルでの装飾の実施(笠原町美濃 焼振興協議会・JTC) ・延伸部分の清掃活動ボランティア実施要請(笠原町老人会) ・沿線3地区の清掃ボランティアに対して清掃用具使用説明会の 実施	・自転車歩行者専用道路の利用者数が増加 1,871台(見込み値:H22.7) 2,337台(確定値:H 23.10)	・清掃等のボランティア活動は継続的に実施
	交流の促進	・さわやかウォーキングの開催(JR東海) ・歩け歩け大会の開催(笠原町) ・桜まつりの開催(滝呂町)	・イベントの実施により、多くの参加者が集まり、交 流が促進された	・各イベントは継続的に実施
	防災活動の推進	・耐震性貯水槽の使用訓練の実施	・住民の防災に対する意識の向上が図られた	・防災活動は継続的に実施
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	旧笠原町中心市街地までの一体感の醸成	・担当課にて、自転車歩行者専用道路(陶彩の径)への接続整 備について検討	・継続的に検討	・予算の確保
	防災対策に対する地域満足度の向上	・耐震性貯水槽の使用訓練の実施	・住民の防災に対する意識の向上が図られた	・防災活動は継続的に実施
	歩行者と自転車の安全性向上	・夜間危険箇所(整備必要箇所)確認のための夜間パトロール 実施	・夜間パトロールの実施により、安全性・防犯性が 向上	・夜間パトロールは継続的に実施 ・自転車のマナー向上啓発運動
	来訪者の駐車場不足	・駐車スペースの設置	・5台分の駐車スペースを確保	・駐車場への適切な誘導
	多治見駅前の駐輪場不足	・担当課にて、駅周辺地区における駐輪場の整備、レンタサイク ル制度の利用について検討	・継続的に検討	・予算の確保

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項